

事務事業名	林道管理補修事業 ☐ 実施計画事業		所属部局	農林商工部		単位番号	6203			
			所属課室	農林土木課		課長名	深澤計佐吉			
			所属担当	農林土木担当		担当者名	河西秀明			
基本政策	基本計画 II	にぎわいと活力あふれる都市づくり	予算科目	会計 01	名称 一般	款 06	項 02	目 02	細目 04	細々目 001
政策	19	自然環境の保全と活用	事業区分	☐ 国の制度による義務的事業 ☐ 施設等維持管理事業 ☐ 県の制度による義務的事業 ☐ 補助金交付事業 ☐ 市の制度による義務的事業 ☒ その他の事業 ☐ 義務化されている協議会等の負担金						
施策	32	自然と共生する地域づくり								
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返（開始年度 年度） ☐ 期間限定複数年度（ 年度）			法令根拠						
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載			事業費の主な内訳（22年度）						
	1.事業目的 林道施設等の維持管理			項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円)						
	2.事業内容 地元区、利用者、市の巡回点検等による不具合箇所維持補修			消耗品費 5 機械及び車輛借上料 737						
				食料費 3 工事・補修用原材料 149						
				修繕料 2,880						
				手数料 150						
				施設維持管理委託料 278 計 4,202						

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	
22年度活動実績	林道巡回点検回数 30回・林道修繕箇所 10件・維持管理 4路線
23年度活動予定	林道巡回点検実施、林道修繕、維持管理
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
林道施設、林道利用者。	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	
林道施設の機能維持、林道利用者の安全を図る。	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
林道用施設の延命化	

⇒ ⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 林道用施設点検	回
イ 修繕箇所	件
ウ	
⇒ ⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 林道延長	m
イ	
ウ	
⇒ ⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 巡回、連絡による不具合対応率	%
イ	
ウ	
⇒ ⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 森林保全面積	ha
イ	

(2) 事業費・指標の推移				単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算見込・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
年間トータルコスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円							
			一般財源	千円	9,755	4,202	5,014	5,560	6,000	6,000	
	事業費計 (A)		千円	9,755	4,202	5,014	5,560	6,000	6,000	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1		
		延べ業務時間	時間	144	200	200	200	200	200		
		人件費計 (B)	千円	642	892	792	792	792	792	0	
	(A)+(B)		千円	10,397	5,094	5,806	6,352	6,792	6,792	0	
活動指標		アイウ	回 件	5.0 2.0							
対象指標		アイウ	m	2.0							
成果指標		アイウ	%	4.0							
上位成果指標		アイ	ha								

(3)この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか？	合併以前から、林道保全のため。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか？また、今後の予測は？	特に変わっていない。今後も変わらないと思われる。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか？	年間の維持管理の要望

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は？	☐ 取り組みしている ⇒【内容！】 ☒ 取り組みしていない ⇒【理由！】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	最低限の予算で維持管理を行い、年間の維持管理を委託している。
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	なし

事務事業名	林道管理補修事業	所属部	農林商工部	所属課	農林土木課
-------	----------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？ 意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由↓】 林道施設の機能維持することにより森林の維持管理及び、林産物の搬出、林道利用者の安全を図る。	
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由↓】 市営林道であるため維持管理は市の義務であり森林の保全、林道利用者の安全を図る。	
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒【理由↓】 対象は、市営林道でありその維持管理を行うことで林道利用者を対象となる事業である。 林道機能維持を図るため意図も適切である。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由↓】 予算内で実施しているので、向上余地はない。	
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) ☐ 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ☐ 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 類似事務事業がない	
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 林道利用者の安全、林業環境の保全が保てない。	☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 左記理由
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 現予算で維持管理の出来ない路線もあるので削減余地はない。	
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 必要最小限の時間で行っているので削減余地はない。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由↓】 不特定多数の人が利用しているので不公平さはない。	

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	林道の維持管理は重要であり大雨・台風等により災害が発生しやすく、維持管理には多額の予算を必要とする。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
☐ 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善(公平性⑨の結果) ☐ 休止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 成果向上(有効性④の結果) ☒ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1" style="text-align: center;"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td>☐</td> <td>☐</td> <td>☐</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td>☐</td> <td>☒</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td>☐</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☒		低下	☐		
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	☐	☐	☐																		
	維持	☐	☒																			
	低下	☐																				
(2) 改革改善案について ① 林道の草刈り、危険箇所の点検 ② ③																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 ① 予想以上に維持管理箇所が多く十分な予算確保をしたい。 ② ③	<table border="1"> <tr> <td>(5) 事務事業優先度評価結果</td> <td>⑧</td> </tr> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>③</td> </tr> </table>	(5) 事務事業優先度評価結果	⑧	成果優先度評価結果		コスト削減優先度評価結果	③															
(5) 事務事業優先度評価結果	⑧																					
成果優先度評価結果																						
コスト削減優先度評価結果	③																					